問1.

【解答例】 216字

薩摩藩の財政を支えた鉱山に山ヶ野金山、鹿籠金山、谷山錫山の3つがある。当時の金山の産金量は佐渡金山をしのぐほどであった。錫鉱山は国内には2つしかなく、谷山錫山は鉱山町として栄えた。このことは鹿児島の特産品である錫器や仙巖園にある錫門でよくわかる。現在、日本で採算の取れる金山は鹿児島県の4つの鉱山だけである。伊佐市の世界的に高品位で日本一の産金量を誇る菱刈鉱山と、枕崎市と南九州市の露天掘りで採掘している春日、岩戸、赤石鉱山である。

問2.

【解答例】 233字

五代友厚は、英国視察中にパリ万博への出品に関し薩摩藩に建言を行い、万博参加により、諸外国に対し薩摩藩が幕府と同等以上の力をもつことをアピールすることに成功した。また、1878年、大阪商法会議所をつくり初代会頭に就任。大阪の商工業の発展にも尽力した。

渋沢栄一は、生涯に約500もの企業の設立に関わり「日本資本主義の父」と称され、「道德経済合一説」を説き、1878年、東京商法会議所の初代会頭も務めた。

この2人は、財界のリーダーとして近代日本の経済発展に大きく貢献した。

問3.

【解答例】 209字

霧島神宮のお田植え祭りでは、境内を田んぼに見立てて、刈敷入れ・種まき・田植えの手順を演じる。面をかぶったジイ（爺）、バジヨ（婆）、牛とのユーモラスな掛け合いが繰り広げられる。いちき串木野市の羽島崎神社の太郎太郎祭りは、太郎とテチョ（父親）による即興の問答に牛がからむ田打ち劇だ。牛は太郎の制止を一向に聞かず、境内を走り回るので観衆は逃げまどう。この後、集落の5歳の男児が松葉を地面に差して田植えのしぐさを見せる。

問 4 .

【解答例】 202字

本県の水産業の特徴としては、養殖業の比重が全国比で高いことが挙げられ、海面養殖業ではブリ、カンパチ等のブリ類が全国一位の生産量を誇る。また、生産量全国一位のウナギが貢献し、内水面養殖業も全国一位となっている。海面漁業では、サバ類、マグロ類、イワシ類の漁獲量が多い。枕崎市は遠洋カツオ漁で有名であるが、伝統漁法の一本釣りであるため漁獲量は全国 10 位前後に留まる一方、かつお節の生産量は全国一位となっている。

問 5 .

<解答例> 【1】

奄美群島の有人島は、奄美大島、徳之島、沖永良部島、与論島などの①8島で構成されている。

徳之島は、奄美大島の南西に位置し、耕地面積は群島中最大である。スポーツのまちとして知られる②天城町では、毎年6月に全国でも有名な「トライアスロン IN 徳之島」が開催されている。

沖永良部島は、比較的平坦地が多く、農地に恵まれていることから、農業が盛んで、③ばれいしょとテッポウユリが④かごしまブランドの産地指定を受けている。

与論島は沖永良部島の南西に位置し、周囲 23.7 キロメートルの円形の小島である。大金久海岸の沖合約 1.5 キロメートルに干潮時のみ姿を現す砂浜「⑤百合ヶ浜」では、白砂の中に星砂が混ざっており、年の数だけ拾うと幸せになれるという言い伝えがある。

<解答例> 【2】 195字

奄美大島は奄美地域最大の島である。産業としては、サトウキビ、野菜、果樹、肉用牛を主体とした農業と黒糖焼酎、大島紬が主なものとなっている。瀬戸内町や宇検村では、真珠やクロマグロ等の養殖が行われている。

また、奄美大島は、国の天然記念物であるアマミノクロウサギ、ハブ、ウケユリ、日本第2位の面積を有するマングローブ原生林など、希少な動植物が多く見られることから、東洋のガラパゴスとも呼ばれている。